

四旬節第四主日 (2025年3月30日)

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

開会の部

前奏
初めの歌 ♪68“主こそわが光”(1,2,3,4,5,6,7,8 節)
み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願 式文1ページ
詩編交読 詩編32編

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ 式文2ページ
(※四旬節の期間、グロリアは歌いません。)

みことばの部

祝福の挨拶 式文4ページ

主日の祈り

神様。あなたは、私たち一人一人を愛しておられます。
あなたの愛を深く悟り、立ち帰ることができるよう、私たちを導いて
ください。
あなたと聖霊とともにただ独りの神、永遠の支配者、御子、主イエス・
キリストによって祈ります。 アーメン

第1朗読日課 ヨシュア記 5:9～12 (旧約 345 頁)
第2朗読日課 コリントの信徒への手紙 2 5:16～21 (新約 331 頁)
詠唱 式文 5 ページ

福音書の朗読 ルカによる福音書 15:1～3, 11b～32 (新約 138 頁)
みことばの歌 ♪306“いさおなきわれを”(1,2,3,4,5,6 節)
説教 『立ち上がって帰る』 北川逸英師
信仰の告白 ニケア信条 式文6ページ

奉献の部

※ 神への感謝です。ご用意のない方も感謝の心をささげてください。
祝福の挨拶～奉献(献金)～奉献唱 式文7ページ
奉献の祈り 式文8ページ

聖餐の部

聖餐の歌 ♪254 “つかれしものに”(1,2,3 節)
聖餐の序詞～サンクトゥス～設定 式文9ページ
主の祈り 式文10ページ
平和の挨拶～アグヌス・デイ～聖餐への招きと陪餐の感謝 式文11ページ

派遣の部

祝福の挨拶～ヌンク・ディミティス 式文13ページ
教会の祈り 伊藤雅道
祝福 式文14ページ
終わりの歌 ♪ 298“心まよいゆくを”(1,2,3 節)
後奏

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会 責任教職 笠原光見牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9
電話/Fax 042-972-5774

Mail: nrkhananno1517@gmail.com HP: <https://kirakira2020.jp/>

Facebook: www.facebook.com/飯能ルーテル教会

詩編 32 編

いかに^{さいわ}幸いなことでしょう。

そむ ゆる つみ おお もの
背きを赦され、罪を覆っていたいただいた者は。

さいわ
いかに幸いなことでしょう。

しゅ とが かぞ ところ あざむ ひと
主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

わたしはひたすら沈黙して、絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

て ひる よる うえ おも ちから なつ ひ で
み手は昼も夜もわたしの上に重く、わたしの力は夏の日照りにあつて衰え果てました。

わたしは罪をあなたに示し、咎を隠しませんでした。

い しゅ そむ こくはく
わたしは言いました。「主にわたしの背きを告白しよう。」そのときあなたはわたしの罪と過ちを赦してくださいました。

いづく い ひと みな み あいだ
あなたの慈しみに生きる人は皆、あなたを見いださうる間に、あなたに祈ります。

おおみず あふ なが ひと およ けっ
大水が溢れ流れるときにも、その人に及ぶことは決してありません。

かく くだん まも かた
あなたはわたしの隠れが、苦難から守ってください方。

すく よろこ かの かた
救いの喜びをもって、わたしを囲んでくださる方。

めざ い みち おし
わたしはあなたを目覚めさせ、行くべき道を教えよう。

うえ め そそ すず あた
あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。

ぶんべつ うま
分別のない馬やらばのようにふるまうな。

たづな うご おさ
それはくつわと手綱で動きを抑えねばならない。そのようなものをあなたは近づけるな。

かみ さか もの なや おお しゅ しんらい もの いづく かの
神に逆らう者に悩みが多く、主に信頼する者は慈しみに囲まれる。

かみ したが ひと しゅ よろこ おど ところ ただ ひと よろこ
神に従う人よ、主によって喜び躍れ。すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。

詩編 32 編

さいわ
いかに幸いなことでしょう。

そむ ゆる つみ おお もの
背きを赦され、罪を覆っていたいただいた者は。

さいわ
いかに幸いなことでしょう。

しゅ とが かぞ ところ あざむ ひと
主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

わたしはひたすら沈黙して、絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

て ひる よる うえ おも ちから なつ ひ で
み手は昼も夜もわたしの上に重く、わたしの力は夏の日照りにあつて衰え果てました。

わたしは罪をあなたに示し、咎を隠しませんでした。

い しゅ そむ こくはく
わたしは言いました。「主にわたしの背きを告白しよう。」そのときあなたはわたしの罪と過ちを赦してくださいました。

いづく い ひと みな み あいだ
あなたの慈しみに生きる人は皆、あなたを見いださうる間に、あなたに祈ります。

おおみず あふ なが ひと およ けっ
大水が溢れ流れるときにも、その人に及ぶことは決してありません。

かく くだん まも かた
あなたはわたしの隠れが、苦難から守ってください方。

すく よろこ かの かた
救いの喜びをもって、わたしを囲んでくださる方。

めざ い みち おし
わたしはあなたを目覚めさせ、行くべき道を教えよう。

うえ め そそ すず あた
あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。

ぶんべつ うま
分別のない馬やらばのようにふるまうな。

たづな うご おさ
それはくつわと手綱で動きを抑えねばならない。そのようなものをあなたは近づけるな。

かみ さか もの なや おお しゅ しんらい もの いづく かの
神に逆らう者に悩みが多く、主に信頼する者は慈しみに囲まれる。

かみ したが ひと しゅ よろこ おど ところ ただ ひと よろこ
神に従う人よ、主によって喜び躍れ。すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。